

鈴茂器工 ご飯盛付けロボット Fuwarica（ふわりか）

シェア No.1 獲得

鈴茂器工株式会社（本社：東京都練馬区、代表取締役社長：鈴木美奈子、以下 鈴茂器工）は、富士経済が発行する市場調査レポート「2022年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」の米飯盛り付けロボット市場で、シェア No.1 を獲得したことをお知らせ致します。



出典：富士経済：「2022年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」 米飯盛り付けロボット 販売金額・台数 2021年実績

■ Fuwarica（ふわりか）製品ラインナップ

Fuwarica は、旧称「シャリ弁ロボ」として 2003 年 3 月より販売を開始し、米飯ファーストフード・レストラン等の外食業態およびスーパーマーケット・テイクアウト等の中食業態、社員食堂や介護施設などの顧客を中心に幅広く導入されております。ご飯を練らずにやさしくほぐし、ボタンを押すだけで定量のご飯をふんわり自動で衛生的に盛付けることが出来る Fuwarica は、おむすびの製造に対応したオプションの開発や保温・保湿機能の強化など、お客様の様々なニーズにお応えするラインナップを揃え、進化を遂げております。

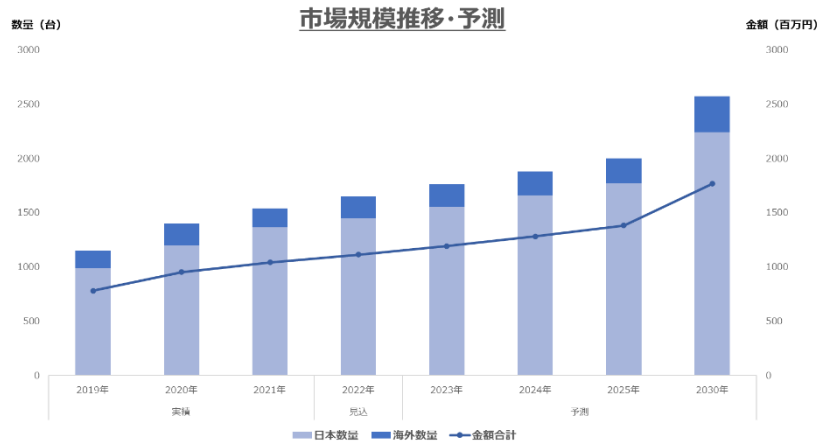
これからの時代のニューノーマルに対応した Fuwarica は、ご飯を取り扱う様々な業態の皆さまの、省人化と安定したおいしさの提供に貢献してまいります。

シェア No.1 の本製品を通じて、『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』というビジョンのもと、「消費者」や「事業者」の皆さまへ食を通じた新しい価値の創出を目指し取り組んでまいります。

Fuwarica（ふわりか）製品情報ページ：<https://www.fuwarica.info/>

■ ご飯盛付け市場の展望

ご飯盛付けロボット市場は、衛生面や盛り付けのムラの改善、人手不足対応手段として外食、小売店、ホテルなどのバックヤードを中心に導入されてきました。日本国内では、各業種ともにオペレーションの効率化を図りたい大手チェーン中心の採用から、緊急事態宣言後の2020年以降は、個人事業主の外食店舗へとすそ野が広がり、市場が底上げされました。外食・小売・宿泊業の人手不足は深刻化しており、省人化や業務効率化の手段が求められており、さらなる成長が期待されている市場となっております。



海外でも、ご飯食の需要が高まっており、大手外食チェーンの海外出店が回復すれば、日本食レストラン等での需要が見込めるため、海外市場でも右肩上がりでの市場推移が見込まれています。

市場規模推移 (2019年～2021年実績、2022年見込、2023年～2025年・2030年予測)

出典：富士経済：「2022年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望」 米飯盛り付けロボット

■ 鈴茂器工株式会社 概要 ■

会社名：鈴茂器工株式会社

英文商号：Suzumo Machinery Co., Ltd.

所在地：東京都練馬区豊玉北 2-23-2

代表者：代表取締役社長 鈴木 美奈子

設立日：1961年1月

資本金：11億54,418千円

事業内容：米飯加工機械、充填機械、包装資材及び寿司ロボット及び食品資材等の製造販売など

URL：<https://www.suzumo.co.jp/>

企業公式 SNS：Instagram：https://www.instagram.com/suzumo_official/

Facebook：<https://www.facebook.com/suzumo.official/>

1981年に世界初の寿司ロボットを開発し、寿司の大衆化を実現したリーディングカンパニーです。米飯加工ロボットにおいて国内外で高いシェアを占め、お寿司、おにぎり、丼ものなど、世界中の様々な食のシーンで幅広く利用されています。近年では、ご飯盛付けロボット「Fuwarica (ふわりか) GST-MRA」が、「第25回外食産業貢献賞 (日本食糧新聞社主催)」を受賞するなど、業界でも注目を集めております。「食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ」を掲げ、細分化する食に関するニーズをいち早く捉えて市場にご提案し、常に新しいフードビジネスを開拓する企業として躍進しています。

● 本件に関するお問い合わせについて ●

鈴茂器工株式会社 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 2-23-2

担当：企画本部 マーケティング部 寺坂・小野寺

TEL：03-3993-1457 E-Mail：marketing@suzumo.co.jp